

有限会社メイワ工業

全自動ユニットワーカー導入による生産性向上とグローバル化への対応

輸出用の金属パレットの製造において既存設備の老朽化等により生産能力が限界であった。新型の全自動ユニットワーカーの導入により加工時間短縮など生産能力を向上させ、グローバル化する農業市場に対応している。

事業取組みの経緯

当社の本社工場（第一工場）で輸出用金属パレット、第二工場では農業機械パーツを製造している。井関農機を含めた同社関連企業向けで売上高の約80%を占めている。従来は、輸出用の金属パレットを主力製品としていたが、井関農機の海外進出に伴い、海外向け農業機械パーツの製造割合が増加傾向にあった。海外生産されるトラクター部品の輸送も増え、輸出用パレットの受注も増加し、設備がフル稼働となり生産が追い付かない中、さらなる増産が求められる状況にあった。

実施内容

既存設備は、輸出用パレット製造の第一段階である材料の部品加工スピードに技術的な問題を抱えていたため、高速かつ高精度に穴開け切断が可能で全自動ユニットワーカーを導入し、部品の精密加工、高速量産体制を構築した。



全自動ユニットワーカー

事業取組みの成果

設備導入による最大の効果は金属の加工時間が大幅に短縮された事である。

本設備は、金属のバーをレール上にセットすると自動で精密定寸・送材が行われ、穴開けと切断が同時に行われる。既存設備の送材速度が25m/分であるのに対し、新型設備は80m/分と約3倍の速度で部品の高速量産加工が可能となっている。また、送材の精度も誤差±1.0ミリから±0.5ミリに向上し、加工時間を短縮しながら高精度な加工が可能となった。

生産能力向上により短納期にも柔軟に対応可能となり、信頼度もさらに高まっている。



輸出用パレット

今後の活動予定

輸出用パレット製造は、比較的競合が少なく、受注増加に対応し、内製化による外注費全般の削減につなげるとともに、増員や従業員への還元も行っていく。また、井関農機以外への新規開拓が徐々に進捗しているが、より一層進めて事業リスクの分散化も行っていく方針である。

有限会社メイワ工業

- 代表者／代表取締役 坂本 敏彦
- 本社住所／〒799-2417 愛媛県松山市才之原160-1
- TEL／089-996-0336 ■FAX／089-996-0354
- メール（代表）／meiwa155@cnc.e-catv.ne.jp
- 設立年月日／平成8年5月14日
- 資本金額／300万円
- 従業員数／42名
- 業 種／金属製品及び農業機械部品製造
- 事業拠点／本社工場 愛媛県松山市才之原160-1
第二工場 愛媛県松山市才之原63-16

企業概要

輸出用の金属パレット、農業機械パーツを主に生産するものづくり企業であり、特に井関農機を中心とした同社グループ企業との取引実績は長年に及ぶ。

主要取引先

井関農機株式会社、株式会社井関松山製造所、株式会社井関重信製作所、株式会社井関熊本製造所、 第一港運株式会社、株式会社NTEC、株式会社パシオン、光永産業株式会社他

主要商品



製造している農業機械部品の一例

主要設備

全自動ユニットワーカー2台、NCバンドソー2台、メタルソー4台、レーザー切断機1台、シャーリングマシン1台、35t～150tプレス機5台、油圧プレスブレーキ1台、セットプレス1台、自動溶接ロボット8台、走行式自動溶接ロボット1台、ワーク回転式自動溶接ロボット1台、スポット溶接機5台、半自動溶接機20台、汎用旋盤1台、汎用フライス盤1台、平面研磨機1台、ラジアルボール盤1台、汎用ボール盤9台、吹付塗装設備他

担当者	専務取締役 坂本一馬
連絡先	089-996-0336
連絡先E-mail	meiwa155@cnc.e-catv.ne.jp